

2019年度修了生 修了研究報告書 題目一覧

学校改善マネジメント コース	1	深い学びを実現する現職教育の在り方 ～算数科の授業研究を通して～
	2	特別活動を通じた学級集団づくりと学級経営 学級活動（1）を中心に主体的に参画する児童の育成
	3	道徳的価値の理解を深める授業改善 ～価値にせまる言葉の検討を通して～
	4	つながりと対話を生む図書館教育 ～しなやかさをもつ児童の育成をめざして～
	5	「特別活動における話し合い活動で対話力を育てることを目指した授業づくり」 ～近畿特別活動研究協議会に向けた取組を通して～
	6	キャリア形成を図る特別活動の在り方 ～学校行事を中心として～
	7	学びをつなぐ スタートカリキュラム ～主体的に自己を発揮しながら学びに向かう姿を目指して～
	8	ねらいと評価を明確にした単元構想 ～単元構想シートを活用し、チームとしての単元づくりをめざす～
	9	仲間と学び合い、よりよい生き方を考える生徒を目指して - 考え、深める、充実した道徳科を通して -
授業実践力 向上コース	1	トゥールミンモデルによる思考力の育成 - 中学校社会科地理的分野「日本の諸地域 関東地方」を事例として -
	2	言語活動を充実させ、説明する力を高める社会科授業の研究 - 中学校社会科地理的分野「世界の諸地域」を事例として -
	3	話し合い活動を活用した学習意欲向上を目指した数学科授業の検討 - 話し合い・自己評価シートを用いて -
	4	社会的事象を多面的・多角的に捉える社会科授業づくり - 「ミニ・ディベート」を活用した公民的分野「基本的人権」を通して -
	5	中学校英語科で「話すこと〔やり取り〕」の場におけるルーブリックの開発
	6	ヒントカード活用による数学的な表現力の育成 - 単元「一次関数」の数学的な見方・考え方を働かせる授業検討 -
	7	「数学のよさ」を実感する授業づくりに関する研究 - 関数 $y=ax^2$ の「実用性」についての課題設定を通して -
	8	中学校理科の実験における仮説設定が及ぼす目的意識への影響